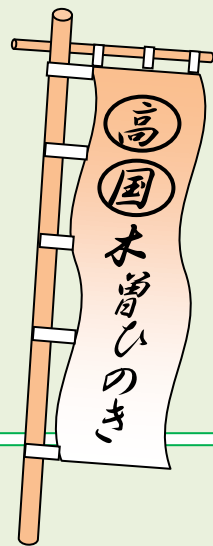


マルコウ マルコク

高 国 木曾ひのき

齡級 有林

木曾森林管理署、南木曾支署では、平成 25 年度より木曾谷の国有林野から生産される、林齢 80 年生以上の高齢級人工林ヒノキについて、良質な素材を「(高)(国)木曾ひのき」(呼称：マルコウ マルコク キソヒノキ)と称して販売します。

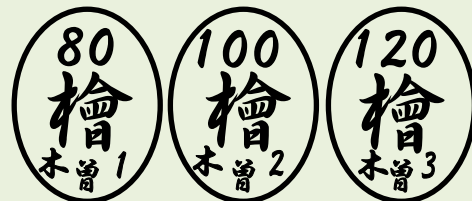


極印の押印



80 年生以上の人工林ヒノキの内、以下の丸太の木口に極印を打ちます。

- ① 長級 4m 以上かつ径級 30cm 以上の尺上材
- ② 長級 4m 以上かつ径級 24cm から 28cm の中目材
ただし、①②のうち、曲材、多節材は除きます。
- ③ 極印は、右の 3 種類を使用します。(左から林齢 80~99 年生、100~119 年生、120 年生以上)



資源の活用に向けて

木曾谷の国有林野の面積は、89,452ha を有し、天然林が 55%、人工林が 45% となっています。人工林に占めるヒノキ林の割合は 67% で、この内、80 年生以上の高齢級ヒノキは、約 30% (約 8 千 ha 約 247 万 m³) を占め、中でも明治 20 年 (1887 年、126 年前) に植栽されたヒノキ林 (大桑村天ノ洞 国有林) が、最も古い人工林ヒノキ林として存在しています。

今後、70% を占める 79 年生以下の人工林ヒノキが順次生育し、高齢級ヒノキの蓄積が増えることが期待されることから、継続的な「(高)(国)木曾ひのき」の生産・販売に努めて参ります。

高齢級ヒノキの特徴

木曾谷から産出される 80 年生以上の人工林ヒノキは、

- ① 厳しい自然条件で育成しているため、年輪が緻密で狂いが少ない。
- ② 淡黄白色の精楚な色合いを呈し、香気と光沢に富んでいます。

